

NEWSLETTER

No. 74

8 January 2020

・2019年地理学教室の行事記録	・・・・・・1
・第19回地理ワークショップの開催	・・・・・・2
・2019年度国土館大学地理学会夏季巡検（山形巡検）報告	・・・・・・3
・2019年度地理実習の記録	・・・・・・5
・卒業論文公開口頭試験について	・・・・10
・2019年度卒業論文公開口頭試験日程	・・・・11

【2019年地理学教室の行事記録】

1月 13日	世田谷の歴史地理巡検（岡島）
2月 6日～ 8日	2018年度卒業論文公開口頭試験（10号館 10204 教室）
2月 14日	国土館大学地理学会巡検（富士山麓：佐々木）
3月 19日	学位記授与式
5月 12日	野外生物観察会（生田緑地：磯谷）
5月 29日～ 30日	地理学野外実習 A（1年生実習，川崎市麻生区黒川地区：専任教員全員）
6月 15日	国土館大学地理学会（10号館 10329 教室） <総会> <講演会> 伊藤修一先生（本学非常勤講師） 「女性の就業と軽自動車」 <懇親会> 1号館 1階学生ラウンジ
7月 26日	9月卒業論文公開口頭試験（10号館 10215 教室）
7月 27日	第19回地理ワークショップ（10号館 10212 教室） <テーマ> 「ホビーと『地理』：生徒を飽きさせない地理」 参加者 35名
8月 26日～ 9月 2日	サンゴ礁調査（沖縄県北部：長谷川，中井）
8月 28日～ 30日	国土館大学地理学会巡検（山形県庄内地方方面：内田）
9月 9日～ 13日	測量実習 3（海津 優先生）
10月 1日～ 2日	地理学野外実習 B（2年生実習：専任教員全員） 長谷川：神奈川県三浦市・横須賀市周辺 岡 島：神奈川県小田原市とその周辺 加 藤：東京都武蔵野市 内 田：群馬県沼田市周辺 磯 谷：長野県蓼科方面 佐々木：群馬県みなかみ町
10月 28日～ 31日	地理学野外実習 C（3年生実習：専任教員全員） 長谷川：伊豆大島 岡 島：富山県富山市とその周辺 加 藤：北海道伊達市とその周辺 内 田：石川県金沢市とその周辺 磯 谷：静岡県下田市と南伊豆町 佐々木：長崎県島原市とその周辺
12月 21日	国土館大学地理学会（10号館 10329 教室） <研究発表会> 関山遙華・尾身青那，城所里帆，原 亘輝，蘆田修平， 太田菜々美，藤井健彦 <講演会> 村田昌則先生（本学非常勤講師） 「東京に影響を及ぼす火山の噴火と災害」 <懇親会> 1号館 1階学生ラウンジ

【第19回地理ワークショップの開催】

「ホビーと「地理」：生徒を飽きさせない地理」

社会科教員のための地理ワークショップ

地理学教室では、大学の研究成果や教育の成果を社会・教育界へ還元するという主旨で、2001年度より「地理ワークショップ」を開催してきました。19回目となる今年度は、「ホビーと「地理」：生徒を飽きさせない地理」をテーマに、7月27日（土）に世田谷キャンパス 10号館2階10212教室で開催されました。

2022年度から高等学校に「地理総合」と「地理探求」が導入されますが、必修科目となった「地理総合」の内容は、今どきの高校生のすべてがそのまま興味をもってくれるとはいえない面もあり、せつかくの必修化が逆に「地理嫌い」の生徒を増やすことになりかねない危惧さもあります。そこで、生徒たちが元々持つ興味分野（つまりホビー）と意外に近いところにある教科が地理なのだということを示すことで、ホビーを通じて、「地理」が我々の身近な生活と密接に関わっていることを生徒たちに知らせるという視点から、新しい「地理」の授業のありかたについて考えてみたいというのが今回の趣旨です。

ワークショップ当日は、台風6号が関東へ接近中のため、当初予定していた参加予定の40名のうち5名が欠席するなど、昨年と同様慌ただしい部分もありましたが、結果的には予定どおり午前中に2つの講演、午後には2つの講演と討論を行うことができ、充実した会にすることができました。プログラムと担当者は下記の通りです。

（内田 順文）

◎ 7月27日（土）9:50～17:30

開会の言葉・趣旨説明

講演1「総論：地理とホビーの接点」

講演2「世界じゅうを旅することによって地理を知ること」

講演3「自然地理導入のための教材を探る

－「となりのトトロ」を中心に－

講演4「車窓景観から広げる地域理解」

グループ討論（アイデア紹介・意見交換）全体討論

まとめ・閉会の言葉

内田 順文

内田 順文

内田 順文

磯谷 達宏

井上明日香（神奈川県立川崎高校）

全参加者（司会：内田順文）

加藤幸治



写真1 ワークショップ開会の様子



写真2 講演4の様子（井上講師）

【2019 年度国士舘大学地理学会夏季巡検（山形巡検）報告】

2019 年度第 1 回目となる夏季巡検が、2019 年 8 月 27 日～29 日に山形県（鶴岡、酒田、村山、山形）で実施されました。参加学生は 6 名で、内田先生に引率をしていただきました。テーマは「山形の街の繁栄と観光産業」でした。山形県の鶴岡・酒田・村山エリアを中心にそれぞれの地域を巡り、比較しながら町的发展や現在の観光産業を地理的観点から学びました。

日 程 : 2019 年 8 月 27 日（火）～29 日（木） 《2 泊 3 日》

テーマ : 「山形県の都市の繁栄と観光産業」

引率教員 : 内田 順文 先生

集 合 : 8 月 27 日 12:50 鶴岡駅前

解 散 : 8 月 29 日 15:00 文翔館前（山形郷土資料館）

行 程 表

1 日目

鶴岡駅集合 12:50 → 鶴岡駅 12:57 Dep. ___ 羽黒山山頂 13:50 Arv./Dep. ---（羽黒山神社・羽黒山五重塔・随神門）--- 羽黒山随神門 14:45 Arv./15:05 Dep. ___ 内川通り 15:35 Arv./Dep. ---（旧本間家宅地・鶴岡城址公園・旧致道館）--- 致道博物館 16:30 Arv./16:44 Dep. --- 湯浜温泉 17:10 Arv./17:30 Dep. --- 華夕美日本海ホテル 17:40 Arv.（泊）

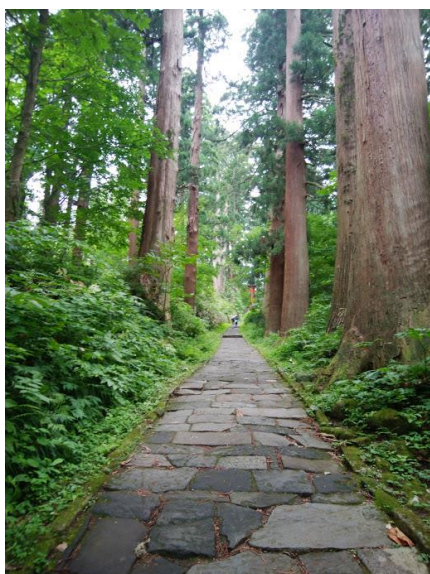
2 日目

華夕美日本海ホテル 8:30 Dep. --- 酒田駅 8:50 Arv./Dep. --- 本間家別荘 9:00 Arv./9:30 Dep. --- 酒田市立資料館 10:00 Arv./10:35 Dep. --- 本間家旧本邸 10:40 Arv./11:20 Dep. --- 山居倉庫 11:25 Arv./11:45 Dep. --- 日和公園 12:00 Arv./12:45 Dep. ---（山王クラブ・相馬楼）--- 酒田駅 13:40 Arv./14:00 Dep. +++ 新庄駅 14:45 Arv./14:50 Dep. --- 新庄城址 15:15 Arv./15:40 Dep. --- 新庄駅 16:00 Arv./16:14 Dep. +++ 村山駅 16:45 Arv./Dep. --- クアハウス基点 18:00 Arv.（泊）

3 日目

クアハウス基点 9:00 Dep. ___ 村山駅 9:15 Arv./9:20 Dep. ---（村上市内散策）--- 村山駅 9:55 Arv./10:05 Dep. +++ 山寺駅 11:10 Arv./Dep. --- 立石寺 11:15 Arv./12:50 Dep. --- 12:55 Arv./13:16 Dep. +++ 山形駅 13:34 Arv./Dep. ---（山形城址）--- 文翔館 14:30 Arv.

--- : 徒歩 ___ : バス +++ : 鉄道



1 日目、鶴岡駅集合後バスに揺られる事 1 時間、最初の目的地羽黒山に到着しました。今回は行程の都合上山頂から下山する形で見学をしました。内田先生と行事から羽黒山をはじめとする出羽三山の歴史等についての説明がありました。石段の坂道を下った後には世界遺産の五重塔や随神門を見学し羽黒山での行程を終えました。その後鶴岡市中心地に場所を移して鶴岡城の史跡や致道館博物館で見学をしました。最後に 1 泊目のホテル近くにある温泉地の見学をして初日の行程を終えました。

写真 1 羽黒山の参道



写真2 山居倉庫の様子

2日目、酒田・新庄で巡検を行いました。酒田では本間家旧本邸や山居倉庫など、酒田の繁栄を象徴する関連する場所をめぐるしました。休憩も兼ねて訪れた酒田市立資料館では、酒田の成り立ちや繁栄、大火との闘いなどの歴史・文化的側面での知識を深めることができました。またかつての賑わいを彷彿とさせる山王クラブ・相馬楼といった場所もめぐりました。日和山公園では木造六角灯台や方位石の見学をしました。村山に向かう途中、新庄で下車をして新庄城址の見学を行いました。ここでは新庄に関する説明が役員から行われました。その後村山に到着し2日目の行程が終了しました。



写真3 村山市内での説明の様子



写真4 立石寺から山寺駅方面を眺める

3日目、はじめは村山駅の周辺の土地利用等を歩きながら確認したのち、「閑さや岩にしみ入る蟬の声」でも有名な立石寺を訪れました。初日で訪れた羽黒山との違いを確認しながらの見学となりました。2時間程の見学ののち、山形市内で山形城址や文翔館で見学を行って巡検は終了しました。

この巡検を通して各地域での発展の違いを追う事が出来ました。またそれぞれの地域での観光への取り組みの違いも押さえることができました。講義では学べない内容や五感を使った体験の連続でとても貴重な経験となりました。今回の巡検の企画段階から親身に相談にのっていただいた内田先生、さらに現地でお世話になった方々に感謝します。ありがとうございました。

国士舘地理学会 根本裕史・原 亘輝（行事部）

【2019 年度地理実習の記録】

地理学野外実習 A : 5 月 29 日 (水) ~ 5 月 30 日 (木) 実施

◎ 長谷川・内田・岡島・磯谷・加藤・佐々木

実施地：川崎市麻生区黒川地区

参加学生数：85 名 (男子 68 名, 女子 17 名)

テーマ：丘陵地の自然環境と人間生活

— 映画に描かれた丘陵地の自然環境と人間生活を参考に —

目的：多摩地区における丘陵地の土地利用に関する調査を行い、地形と土地利用の関係、都市化・宅地化の進行の特徴やその要因等について考察することを通じて、地理調査や地理的思考法の基本を体得する。

課題：図表を含めて 400 字詰め原稿 10 枚以上相当のレポート。

提出日時・・・7 月 9 日 (火) 5 限「地理学入門ゼミ」の授業時



写真 1 多摩校舎に集合して実習開始



写真 2 班ごとに土地利用等の調査を行いました



写真 3 歩き回って地図を作成します



写真 4 夕食後は調査についてのミーティングです



写真 5 二日目も午前には調査！



写真 6 再び多摩校舎に集まりまとめの講義

地理学野外実習B（2年生対象）：10月1日（火）～10月2日（水）実施

◎長谷川

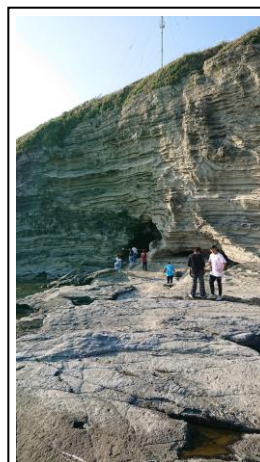
実施地：神奈川県三浦市 三浦半島南部と城ヶ島

参加学生数：16名（男子14名，女子2名）

テーマ：段丘，海岸段丘，砂浜海岸や岩石海岸の特徴的な地形を学ぶ。

内容：①：海岸段丘や段丘を刻む谷地形の観察
②：砂浜海岸に見られるカスプの観察と計測
③：岩石海岸と離水ベンチの観察。
④：海食洞の成因
⑤：タフォニの観察と計測
⑥：クリノメーターやハンドレベル使い方
⑦：地層の観察方法
⑧：簡易測量 以上の8点を中心に地形，地質の基礎的な観察方法を学んだ。

課題：調査結果をもとに，A4版20～30枚程度のレポートを作成する。



長谷川班：

段丘崖の直下は波食ベンチが広がり，波食溝の奥に海食洞が形成されています。どのようにしてこれができるか，周囲の地形や地質をもとに観察しています。

◎内田

実施地：群馬県沼田市周辺

参加学生数：9名（男子6名，女子3名）

テーマ：観光地の調査と観光地の場所イメージの解読

内容：①風景論の基礎，および風景の観賞方法について実習する。

②「沼田」のイメージあるいはそれに関係する種々のイメージが，観光資源としてどのように利用されているかを調査・考察する。

課題：レポート1：観光地としての「沼田」の風景の特徴とその地域性について，レポート2：観光地の記号としての「沼田のイメージ」



内田班：老神温泉にて

◎岡島

実施地：神奈川県小田原市

参加学生数：参加学生数：13名（男子11名，女子2名）

テーマ：近世城下町小田原の近現代における変遷

内容：小田原の旧城下町・宿場町を構成した地区における観察調査および住民への聞き取りによって，歴史的な町の現状と変遷過程を学習する。また小田原城下・中世小田原城遺構の見学を行い，歴史的町並みの調査結果に基づく地図を作成し，考察する。

課題：標記のテーマについて所定の分量のレポートを作成する。なお夏休みに事前学習を行っている。



岡島班：小田原城城郭について説明を聞く

◎磯谷

実施地：長野県蓼科方面

参加学生数：5名（男子3名，女子2名）

テーマ：山地帯下部～上部の植生

内容：茅野市内から縞枯山にかけての地域でみられる植生などの生態地理の標高に伴う変化について，組成・構造・動態・立地などの視点から調査した。

課題：指示された項目にしたがって，この地域の植生とその全国的な位置づけについて，図表を含めてA4版20枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磯谷班：塩沢地区のコナラ二次林にて

◎加藤

- 実施地：東京都武蔵野市
参加学生数：13名（男子10名，女子3名）
テーマ：東京都武蔵野市におけるコンビニエンスストアの立地展開
内容：対象地域におけるコンビニエンスストアの立地について，過去のデータのデータと比較しながら，その変遷を把握し，立地の要因を考察する．仮説をいくつか立て，それを立証するための調査を行うようにする．これを通じて，経済地理学的な調査の方法・経済地理学的見方・考え方の基礎を学ぶ．
課題：調査結果に関する図表を作成し，調査結果にもとづいた内容についてレポートする．



加藤班：夜のミーティング風景

◎佐々木

- 実施地：群馬県みなかみ町土合（天神平と湯檜曾川）
参加学生数：13名（男子9名，女子4名）
テーマ：多雪山地における地形と植生の観察，気温観測
内容：みなかみ町土合地区の湯檜曾川の谷底と谷川岳天神尾根において気温・湿度の定点観測と移動観測を実施し，気温の垂直分布や冷気流の機構を考察した．また，天神尾根や湯檜曾川の谷底において多雪地帯の山地に典型的にみられる地形と植生景観を観察した．
課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4版20枚程度のレポートにまとめる．



佐々木班：土石流堆積物の調査の様子（湯檜曾川支流西黒沢）

地理学野外実習C（3年生対象）：10月28日（月）～31日（木）実施

◎長谷川

- 実施地：東京都大島町（伊豆大島）
参加学生数：9名（男子8名，女子1名）
テーマ：4つのグループに分かれ，テーマを設定し現地調査を行う
内容：①海浜段丘と堆積物：代表的な二つの砂浜を例に，計測，ドローンによる写真測量
②火山災害と対策：避難経路の妥当性の検討など
③台風による風害：島の南部における被害状況調査とインタビュー
④土石流災害：火山斜面に起こった大規模土石流被害地は現在どのように変化したか．災害に対する住民意識をインタビューにより調査
以上の4つのテーマに分かれて観察方法を学んだ．
課題：現地で得たデータをもとに，A4版30枚程度レポートを作成するとともに，A0版のポスターを作成する．



長谷川ゼミ：
伊豆大島の北西端にある浜で，ポールカメラを使った撮影をしています．数百枚の写真を撮影し，これらを元に写真測量から地形図を作成します．

◎内田

実施地：石川県・福井県

参加学生数：7名（男子2名，女子5名）

テーマ：学生各自でテーマを設定し，現地調査を行う。

内容：「富山市・金沢市・福井市の観光イメージについて」「石川農村ボランティアの取り組みとその意義」「金沢市における観光と「インスタ映え」について」「城下町金沢における世界遺産登録にむけた観光まちづくり」「加賀市橋立伝統的建造物群保存地区におけるまちづくり」「地方空港の地域的役割—小松空港を事例として—」など。

課題：各自設定したテーマにしたがって，現地で得たデータをもとに分析・考察を行う。



内田ゼミ：夜の片山津温泉（加賀市）で

◎岡島

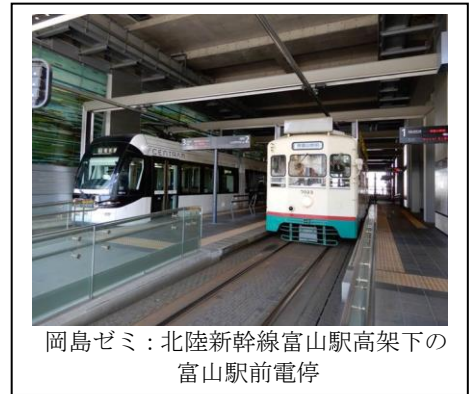
実施地：富山市および周辺地域

参加学生数：9名（男子9名）

テーマ：歴史地理学・交通地理学等に関する地域調査

内容：近世高岡・富山における町人地比率の変化—歴史GISを用いて，高岡鑄物の歴史地理，高岡市山町筋における商業地の変遷，沿線住民から見た第三セクター鉄道，北陸新幹線開業に伴う変化，富山地铁富山市内軌道線の利用状況，富山市におけるLRTがもたらすまちづくり，万葉線の利用者評価と今後の展望，富山空港の歴史と展開。

課題：各自のテーマについてのレポート作成。



岡島ゼミ：北陸新幹線富山駅高架下の富山駅前電停

◎磯谷

実施地：静岡県下田市および南伊豆町

参加学生数：7名（男子7名）

テーマ：伊豆半島南部の生態地理

内容：静岡県下田市・南伊豆町付近でみられる生態地理について，各自・各班が事前にテーマを設定して調査した。具体的に選ばれたテーマは，「河辺・湿地の草原の分布と種組成」「河原側と里地里山側にける鳥類の分布と環境」「哺乳類の分布・生態・被害とその対策」であった。

課題：図表を含めてA4版30枚程度のレポートにまとめる。



磯谷ゼミ：全班集合！雨でも調査

◎加藤

実施地：北海道伊達市とその周辺

参加学生数：10名（男子8名，女子2名）

テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う

内容例：伊達市内商店街の現状と課題，伊達市におけるあいのりタクシー事業，伊達市における塾の立地とその要因，伊達市の移住政策，室蘭港の現状，室蘭市における宿泊施設の現状 他

課題：各自のテーマについて、『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる。



加藤ゼミ：最終日・お世話になった伊達温泉にて

◎佐々木

実施地：長崎県島原市とその周辺

参加学生数：9名（男子8名，女子1名）

テーマ：島原半島における気象観測と雲仙普賢岳の平成噴火による地形変化と災害

内容：島原半島を横断する山岳道路沿いの11カ所と島原市内から眉山山頂までの間の9カ所において，気温の定点観測を実施した。また，島原市内で気温と風向風速の移動観測を実施した。この結果，海陸風の発生や斜面暖温帯の存在を確認できた。また，普賢岳の平成噴火に伴う火砕流や土石流による被害施設の見学と火砕流・土石流堆積物の調査を実施して，火山活動の実際や被害の出方について理解した。

課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4版30枚程度のレポートにまとめる。



佐々木ゼミ：火砕流堆積物を調べる

【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して合否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジメを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピー、その他卒論作成に使用した資料や参考文献のコピーなどは、必ず持参してください（公開口頭試験の際に提示を求められる場合があります）。これらは卒論の合否が決まるまで処分しないこと。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

なお評価の結果、優秀な卒論2編は、全国地理学専攻卒論発表大会（2020年3月中旬・東京学芸大学）で発表してもらうこととなります。発表者は、2月8日中に決定し、すぐに通知します。

日 時：2020年2月6日（木）、7日（金）、8日（土）
場 所：世田谷校舎 10号館2階 10204教室（階段教室）

注意事項（4年生はよく読んでおくこと）：

※ 試験時間は、1人18分（発表9分、質疑応答9分）である。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となる。なお、発表時は予鈴7分、本鈴9分の合図があります。

※ 発表に際しては、かならず以下の要領でレジメを用意しておくこと。レジメはワープロによって作成することが望ましい。

1. レジメは、論文題目、氏名、論文の要旨（目的・方法・結果を書く。字数が多くなりすぎないように、計800字程度を目安にするとよい）、説明に使用する図表によって構成する。
2. レジメの枚数は、A3サイズで2枚横書き（図表を含む）とし、各自40部ずつ用意する（自費でコピー：図表がカラーでないと判別しにくい場合はカラーコピーをするか、口頭試験用に図表を白黒で描き直すこと）。
3. レジメは、発表者交代の合間に次の発表者が配るものとする。その際、まず教員に配ること。各日の朝一番目の発表者で、責任を持って依頼できる学友がいる人は、前日の最終発表者のレジメ配布を学友に頼んでも構わない（ただし問題があれば責任は依頼した人にあり、減点の対象ともなりうるので、注意のこと）。
4. レジメの文章をそのまま読むような発表は控えること。口頭試験の発表用原稿を別に用意することが望ましい。

※ 発表では、パワーポイントも使用できる。使用するパソコンは原則として教室備え付けのパソコンを使用すること。発表用ファイルは、午前に発表の者は発表当日の朝、午後に発表のある者は昼休みにパソコンのデスクトップにコピーしておくこと。発表時にUSBメモリーを持参し、そこから起動して使用することもできるが、この場合は一連の作業を含めて発表時間となるので、発表時間が大幅に削られてしまう危険性がある。慣れていない者は、あらかじめ教室備え付けPCにコピーしておくことを奨める。

※ 地域調査士の資格取得に向けては審査前事前請求制度があり、3月中に認定証を受け取ることができます。資格取得希望者は、1月末（以降）に日本地理学会資格専門委員会から郵送される書類を熟読し、同封されている申請書に必要な事項をすべて記入のうえ（顔写真も必要）、口頭試験日程期間中に主査へ提出すること。その後、副査が記名・押印し、一括して返却する。この機会をのがすと「地域調査士認定委員会が指名する者の認定」が面倒なことになるので、卒業予定者は必ずこの機会に行うこと。

※ 3年生は卒論作成の参考のため、また来年の口頭試験のためにも、全員出席し、大半の発表を聞くようにすること。1, 2年生もできるかぎり1日以上出席すること。2年生にとっては3年以降の専門分野（ゼミ）の選択する上で、もっとも参考になる行事なので、できる限り多くの発表を聞くことが自分のためにもなります。

【2019 年度卒業論文公開口頭試験日程】

氏 名	題 目	主査	副査	地調	GIS
2月6日(木) 10:50~12:05 <進行:佐々木>					
矢田 智康	千九十九里浜の景観変遷と海岸林の減災効果 ー千葉県一宮町を例にー	長谷川	磯谷	○	
田中 康陽	近代における地方鉄道の計画と開通	岡島	内田		
西山 恵	都市再生機構による「スターハウス」の保存と活用	内田	岡島		
武藤 涼太	千葉県松戸市矢切地区におけるサギ類の分布とそれに関わる環境要因および採餌行動	磯谷	長谷川		
12:55~15:30 <進行:佐々木>					
津田 優太郎	九州新幹線開業に伴う地域の変化 ー肥薩おれんじ鉄道を事例としてー	岡島	内田		
藤原 葉月	伊豆半島北西部大瀬崎および御浜岬における海岸植生の組成と分布	磯谷	長谷川		
河原 則裕	郊外地域におけるコミュニティバスの現状と展開 ー多摩市を事例としてー	岡島	加藤		
小林 比奈乃	東京都心域におけるスギ衰退の現状とその要因	磯谷	長谷川		
佐藤 純人	新線開通による駅周辺部の土地利用の変化 ーつくばエクスプレス沿線を事例としてー	岡島	内田		
小林 溪太	神奈川県秦野駅前通り周辺における活性化策の展開と商業者の認識について	内田	加藤	○	
沖元 華奈	島根県西部における海岸からの距離と斜面方位に伴う二次林の樹種構成の変化	磯谷	佐々木	○	
太田 武斗	ガソリンスタンドの立地展開と減少問題 ー神奈川県小田原市を事例にー	加藤	岡島		
15:45~17:55 <進行:磯谷>					
高田 重徳	福島県郡山市におけるヒートアイランド現象の実態	佐々木	長谷川	○	
青木 悠人	産業の衰退に伴う土地利用の変化 ー群馬県昭和村を例にー	長谷川	佐々木	○	○
長津 真央	現地調査と既存のデータより見る放射線量の現状 ー福島県福島市と郡山市を例にー	長谷川	磯谷	○	
茂垣 和也	道路渋滞による路線バスの遅延状況について ー西武バス泉32・泉33・泉39・吉63・吉66系統を事例としてー	岡島	長谷川	○	
竹俣 基	北海道十勝振興局における高等学校への交通アクセスと教育サービス向上の重要性 ー北海道鹿追高等学校を例にー	加藤	岡島		
中山 涼司	東京都港区浜松町および芝大門地区における同業種集積地の形成	加藤	岡島		
松崎 勝広	アメヤ横丁におけるゴミのポイ捨ての現状とその要因について	内田	加藤		
2月7日(金) 10:45~12:00 <進行:加藤>					
八月朔日 和也	霞ヶ浦における洪水浸水想定区域の分析	佐々木	長谷川	○	
越川 真菜	ソメイヨシノの開花とヒートアイランド・地球温暖化の影響 ー東京都区部を事例としてー	佐々木	磯谷		
佐藤 佳弘	千葉県東葛飾地域におけるいちご狩り農園の経営と課題	内田	加藤		
稲垣 真輝	大学生の鉄道駅に対する地域イメージについて ー小田急小田原線を事例としてー	内田	岡島	○	

12:55~15:30 <進行:岡島>

大野 和希	福島県南西部におけるアバランチ・シュートの分布とその地域的特徴	佐々木	長谷川	○
黛 隼人	千葉県南房総市岩井地区におけるスポーツに関する取り組みと民宿の実態	加藤	岡島	
前野 嘉章	会津磐梯山の山地帯における標高に応じて発達した天然林の垂直分布	磯谷	佐々木	
関口 翔	丹沢山地における崩壊地の47年間の変化と人工林との関係	佐々木	長谷川	○ ○
石綿 佑基	近年におけるスーパーマーケットの立地展開 －埼玉県を中心に－	加藤	内田	
松山 友瞳	アニメ作品から見る脚本家岡田磨里の故郷 秩父 －『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない』を事例に－	内田	加藤	
中島 健斗	平成29年九州北部豪雨による土砂災害と斜面危険度の判定 －小野地区を例に－	佐々木	長谷川	○
森岡 勇	安倍川下流域における河辺植生の分布と立地環境	磯谷	長谷川	

15:45~17:55 <進行：磯谷>

古澤 遥貴	つくばエクスプレス線開業による人口流動と社会構造の変化～千葉県流山市を事例に～	内田	岡島	
鈴木 琴弥	川口市における芝川の変遷と土地利用の変化について	佐々木	磯谷	○
田中 昌希	公園内の言語景観について ー新宿御苑・砧公園・台場海浜公園を事例にー	内田	加藤	○
石崎 聡	湖沼の汚濁におよぼす流入河川の影響ー茨城県北浦と巴川を例にー	長谷川	磯谷	○
杉山 公介	近年における書店の立地展開ー静岡県を事例にー	加藤	内田	
大内山 颯士	溶岩地形に発達する谷地形の分析ー桜島における噴出時期が異なる溶岩原を例にー	長谷川	佐々木	
仲森 秀斗	千葉県海匝地域における宿泊施設の立地展開	加藤	内田	○

2月8日(土)

10:45~12:00 <進行：長谷川>

吉原 徳哉	建築設計事務所の立地展開と減少理由	加藤	岡島	
間所 賢文	札幌市西区における積雪期のヒートアイランド状況	佐々木	磯谷	
小山 智樹	渋谷区竹下通り周辺における散乱ごみの分布特性	内田	加藤	
青木 陸	エルニーニョ現象とラニーニャ現象が及ぼす影響ー日本における「梅の開花日」と「台風の発生場所と進路パターン」を事例にー	佐々木	磯谷	

12:55~15:05 <進行：内田>

飯田 杏実	千葉県いすみ市における地域創生と地域おこし協力隊について	内田	加藤	
岡風呂 健登	コミュニティバスの運行による交通空白地域の解消ー小金井市コミュニティバス「C o C oバス」を事例としてー	岡島	佐々木	○
吉田 直樹	東京湾沿岸における海陸風	佐々木	磯谷	○
田口 遼	地方鉄道の現状と課題ーわたらせ渓谷鐵道を事例としてー	岡島	長谷川	
小林 美咲紀	諏訪湖における水生植物群落の分布とその環境要因の変遷ーとくにヒシ群落に着目してー	磯谷	佐々木	
白幡 遥	宮城県気仙沼市における復旧をめぐる養殖業への経済的支援	加藤	岡島	○
鈴木 響太	三浦半島中部における広葉二次林の樹種構成と遷移ーとくにオオシマザクラ林に着目してー	磯谷	佐々木	

注. 地調：地域調査士取得希望者, GIS：GIS 学術士取得希望者

重要事項！4年生は必ず読むこと！

研究室，図書館から借りだしている書籍・備品は口頭試験の前（2月初旬）までに必ず返却してください。

4年生で未返却の者は，卒業資格を満たしていないとみなします。